

市民の存続の
声に背いて

フィットネスセンターを廃止

市民連(民主・社民・連合系)が廃止賛成に豹変



12月議会ではフィットネスセンター(MOOのプール)の廃止条例を否決、存続を求めた市民団体の陳情は可決。この問題での議会の判断は既に出されています。それなのに、議会直後から廃止条例の再提案こたわったのが蝦名市政です。利用者団体との話し合いも平行線のまま、再度2月議会に廃止条例が提案されました。

村上議員は、「12月に議会が存続を決めたときから、フィットネスセンターを取り巻く環境は少しも変わっていない。議会の判断を尊重するのが当たり前だ。少なくとも一年間の運営費を確保、この秋の市長選挙の判断にゆだねるべきではないか」と質問しました。しかし、ここで市民連は市民が納得できるような理由は何ら示さず、市長を与党として



議会最終日に、村上議員がフィットネスセンター廃止条例に反対討論をしました。

支えるためだけに態度を変えさせ、賛成に転じたので、廃止条例に共産党、自民党は反対し、多数で可決された。市民連の豹変に、民間の視点が向けています。

給食センターに放射能測定器導入



食材から放射性物質が検出されたら、使用しません!!

12月議会では、学校の給食の食材の放射能検査を提案、予算編成のなかで機器の導入が本決まりになりました。

今議会では、放射能が検出された食材は使わないようにと質問、検出されたら使用しないことになりました。親御さんの不安に少しでもこたえた、安心の学校給食をめざします。

本予算の採決の前には必ず討論があります。しかし、今回はフィットネスで賛成に転じた市民連に、議場で態度を変えた理由を釈明せよと賛成討論をするよう一部会派が主張、市民連はダンマリを決め込んでやり過ぎたい・・・すったもんだのあげく、予算もフィットネスも賛成討論はなくなり、共産党の反対討論だけになりました。賛成討論もできないくらい混迷が深まっています。

HP、ブログをぜひご覧下さい

ホームページとブログを更新しています。検索サイトで、村上和繁、あるいは村上かずしげの独り言 で探してください。



12年3月25日

村上かずしげ通信

発行 共産党市議団 23-5212

このチラシは政務調査費で作りました。

駅西用地に道営住宅を誘致して



和商市場の向かい側に、旧釧路振興公社が所有していた土地があり、そこで、さっぱり売れないので、駐車場として使っています。ここに道営住宅を誘致できないか、道と市の間で検討されています。道の間にわかりました。道の間の場所の公住です。ぜひ、実現できるように後押ししていきま